

岡山プロフェッショナル・ビューティ専門学校

令和5年度（2023年度）

【 学 校 関 係 者 評 価 報 告 書 】

2024年4月

学校法人 岸学園

岡山プロフェッショナル・ビューティ専門学校

2024年4月20日

岡山プロフェッショナル・ビューティ専門学校  
学 校 長 榊原 一憲 殿

学校関係者評価委員会  
委員長 [REDACTED]

## 学校関係者評価報告書

2023年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

### 記

#### 1. 学校関係者評価委員

- ・ [REDACTED] 卒業生, 学園評議員)
- ・ [REDACTED] 卒業生, 学園評議員)
- ・ [REDACTED] 登録認定講師)
- ・ [REDACTED] コーチ)
- ・ [REDACTED] R5年度卒業生 御父母)

#### 2. 学校関係者評価委員会の開催状況

- 1) 開催日 : 2024年4月13日(土曜)  
会 場 : 本校3階 講義室

##### 2) 開催状況

[REDACTED]委員長を議長として2023年度学校関係者評価委員を開催。  
評価委員会においての報告を下記に記載し、岡山プロフェッショナル・  
ビューティ専門学校学校長へ提出致します。

### 3. 2023 年度 学校関係者評報告

#### 学校関係者評価委員からの主な意見

1. 教育理念・目的・人材育成像について	学校自己評価：3.7 関係者評価：4.0
<ul style="list-style-type: none"><li>・毎年の実績報告からエステ国際資格を7年連続全員合格と目標の達成と当たり前の様になっているが、合格に向けての教員と学生が共に真剣に取り組んでいる様子が伺われる。また全国的に合格率が低下している中で本年度は、認定上級資格も全員合格という実績は素晴らしいと感じる。</li><li>・体験入学参加学生が卒業生からの口コミやサロン店においての推薦など関係者からの学校評価を耳にする事がとてもうれしく感じている。</li><li>・創立時より『美の提供と学び』を追求している事は、すばらしく継続を願うと共に若い学生が自己成長できる環境づくりを充実させてもらいたい。</li><li>・サロン経営をしている卒業生が外部講師として指導に加わり、更に充実した授業を行い教育の幅を充実させて学生との信頼感も向上していると感じられる。</li></ul>	
2. 学校運営について	学校自己評価：3.9 関係者評価：3.7
<ul style="list-style-type: none"><li>・プラスの経常収支を維持しており、2023 年度は新入生および2年生も少し増加し、定員充足率が5割であるとの事。</li><li>・学生募集の武器としてSNS参加者が増加。その効果はあるとの事。</li><li>・高校ガイダンスも通常に戻り、広報活動も再開しているとの事、体験入学への参加及び傾向にも変化が表れているとの事、増員へ向け強化してもらいたい。</li><li>・学生イベントは通年通り活動され、後期はデイサービス企業2社からの参加依頼もあり、校外イベントも充実させ通年以上の活動も実施して地域貢献と広報に役立ててもらいたい。</li></ul>	
3. 教育活動について	学校自己評価：3.9 関係者評価：3.9
<ul style="list-style-type: none"><li>・資格取得の種類や段階を明確に伝えていて、学生個人の目標設定がわかりやすい環境になっていると思う。</li><li>・サロン経営の外部講師の加入もあり、新しい授業内容への取り組みは評価したい。</li><li>・外部モデルへの施術も通年へと戻り、中断していた外部研修への参加も充実し見聞の機会も増えることを期待している。</li></ul>	
4. 教育成果について	学校自己評価：3.8 関係者評価：3.9
<ul style="list-style-type: none"><li>・シデスコ国際試験は試験当日、体調不良学生があり後日受験となったが7年連続全員合格を達成。1年次受験の認定上級試験も本年は全員合格の達成。資格試験の大きな目標達成は大きく評価したい。</li><li>・就職活動も海外検討もしていたが、国内企業へ全員が就職している現状は学校の誇れる実績として継続させてもらいたい。</li><li>・今年度は休学者が1名あるが復学予定との事、退学者は0名であり、学校目標として継続してもらいたい。</li></ul>	
5. 学生支援およびご父母等との連携について	学校自己評価：3.8 関係者評価：3.9
<ul style="list-style-type: none"><li>・修学支援新制度対象校の認可も継続されていて、学びの環境が強化され非常に評価する点である。</li></ul>	

<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校独自の支援制度（下宿・遠方通学生等）は非常に評価している</li> <li>・担任制ではあるが、それぞれの教員がクラス指導に当たり学生とのコミュニケーションも充実していると感じられる。</li> <li>・従来より実施しているご父母間とのメールの連絡も随時送られ授業の様子や相談なども出来るので安心している。</li> </ul>	
6. 教育環境について	学校自己評価：3.9 関係者評価：4.0
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生のアンケートから、先輩との合流授業等でより技術的な学習が出来ている事と、1年後の自分の夢と目標を持つ事を実感している意見が多い。</li> <li>・就職先企業も広報担当教員の活動も強化されて学生の希望先への広報も積極的に行なわれていると感じられる。</li> <li>・関連協会団体の研修に教員が積極的に参加して新しい情報を提供していると感じられる。</li> </ul>	
7. 学生募集・受入れ・入試制度について	学校自己評価：4.0 関係者評価：4.0
<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数制授業や目指す資格についてのアピールを拡大させて、学生が真剣に学んでいる毎日の状況をもっとアピールしてもらいたい。</li> <li>・エステ単科校である学校の特徴を説明して体験入学時から『学ぶ喜び』を感じて入学を楽しみにしていた。</li> <li>・下宿・通学支援が毎月直接学生に支給されることは、家庭にとっても非常にありがたい。</li> </ul>	
8. 財務について	学校自己評価：3.5 関係者評価：3.6
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の少人数制体制だからこそ細かい指導や、これを望む学生も多いと思われる。</li> <li>・本年度から開始の入学定員の変更および、学科の変更も入学生への説明もなされその中で今年度は充足率5割以上となっているので継続してもらいたい。</li> <li>・財務処理も昨年より向上している点も踏まえ、急激な増加は見込めないが、入学者の増員と財務的にプラス経常で安定された継続を望みます。</li> </ul>	
9. 法令遵守について	学校自己評価：3.8 関係者評価：4.0
<ul style="list-style-type: none"> <li>・県の基準を元に情報公開の面でも強化され必要部分の公開がされて来たと思います。</li> </ul>	
10. 社会貢献について	学校自己評価：3.3 関係者評価：3.5
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度はダイケアサービス企業からの再開希望の連絡を受け、2つの企業への訪問イベントを実施。</li> <li>・今後の校外イベントの再開に向け新しい活動の開始を期待している。</li> </ul>	

#### 4. 学校関係者評価委員会の総合的な評価結果

・開校時より資格取得だけにとらわれず、技術力の向上や女性としての人間形成面への指導方針も明確にされていて、個々の学生のモチベーションも継続されているという認識が評価委員会および学生の状況をみても十分感じる事ができる。

・今年度から2年学科が上級学科へ変更され新しい授業展開として、より実践実習へと授業内容も充実化しているとの事。更にレベルアップに向けての取り組みを評価したい。

・本年度入学生には対象学生はいないとの事ではあるが上級学科2年次には給付型奨学金が受給できなくなるのは学生にとっては非常に大きなデメリットとなる。

・学校独自の給付対象学生への支援も是非充実させてほしい。

※ 対象学生には支援決定の報告あり。

・本年度は退学者も発生していないので非常に良かったと思います。

・2年生受験の『シデスコ国際試験』も7年連続全員合格であること。

本年7名受験7名合格（岡山から総数39名を輩出）

また1年生受験の『認定上級エステ試験』も受験者全員が合格と様々な学生の中で全国的に認定上級試験の合格率が下がっている中で達成されたことは非常に評価したい。

本年12名受験12名合格

・国際資格をはじめ就職状況と十分な成果を継続できたことは、学校に対する信頼と安心を感じる事が出来ました。

国内21校しか存在しない『国際基準の認定校』としての誇りも高く持ちその成果も継続して頂きたいです。

・高校生人口の激減の中で、教育面・学校の指導面などを含めた充実とSNS強化の成果を継続させて、高校生の総数減少に向けて昨年以上の募集活動の強化を図り定員の充足率を向上にむけて新しい方法も検討し、努力してもらいたい。

今後の新しい活動にも、大いに期待しています。